

令和8年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 鹿児島県
 農業委員会名： 中種子町農業委員会

I 農業委員会の状況(令和8年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和5年7月20日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	13	13
認定農業者	—	6
認定農業者に準ずる者	—	
女性	—	2
40代以下	—	
中立委員	—	1

任期満了年月日 令和8年7月19日

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	8	8	8

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	800
農業経営体数	729

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	943
女性	429
40代以下	61

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	105
基本構想水準到達者	35
認定新規就農者	21
農業参入法人	12
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑			計
		普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	430	2,750			3,180

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

II 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)/(A)
	3,180 ha	947.6 ha	29.8 %
課題	高齢化による農業廃止や経縮小を行う農家が増加していく中で、担い手となり得る農家も年々少なくなっていることが課題。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和12年度	集積率	90.0 %
今年度の新規集積面積	46.3 ha	農地面積(C)	3,180 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	993.9 ha	(目標)今年度末の集積率(E)=(D)/(C)	31.3 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	40.8 ha	14.2 ha	26.6 ha
課題	経営縮小していく農家が増えている。 また極小農地や山際にある農地については借り受けする農家がないため遊休化していく。 大型機械化が進んでいるが、取り付け道路が狭く入りこめないため遊休化していく。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	13.6 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	2.7 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地面積	15.1 ha
----------------------------	---------

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	関係機関(土地改良区, 町, バンク)と連携を行い, 所有者の意向を聴取した上で情報収集を行う。 また, 今年度非農地判断を思慮していくための工程表を3月までに策定する。
-------------------------	--

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	6.9 ha
---------------------------	--------

(3) 新規参入の促進

① 現状及び課題

現状	5年度新規参入者		6年度新規参入者		7年度新規参入者	
	6	経営体	6	経営体	12	経営体
	4.4	ha	3.4	ha	7.8	ha
課題	面積や場所が参入者の意向に合う農地が見つからない。 新規参入を行った後経営拡大を行う参入者もが少ない。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

② 目標

権利移動面積	5年度		6年度		7年度		平均	
	97.0	ha	70.3	ha	135.1	ha	100.8	ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積					10.1		ha	

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10	日/月	最適化活動を行う 農業委員の人数	13	人
			農地利用最適化推進委員の 人数	8	人

(2) 活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3	回
-------------	---	---

取組時期	取組項目	強化月間の内容
8月	農地の集積	「使える農地を使えるうちに」を考慮し、担当地区を周回し規模拡大目指す受けへあっせん活動を実施。
11月	遊休農地の解消	担当地区ごとに個別に高齢世帯の訪問を行い今後の意向調査を実施。
1月	新規参入の促進	町と連携し新規就農者の面談に参加し相談及び今後の経営意向を聞くとともに農地の斡旋、貸借の方法など周知し必要に応じ現地への案内を実施。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3) 新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1	回
---------------	---	---

開催時期	令和9年1月	相談会名	新規就農者を励ます会
参加者数	2人	開催場所	管内
相談会の内容	「新規就農者を励ます会」に参加し農地を利用する上での相談に応じ助言を行う。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)